

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	開講学期	通年	単位数	2	試験	前期・後期		
タイプ	III	リポート数	6	スクーリング必要時数	8	スクーリング実施時数	14				
教科書(発行者)	高校生の美術Ⅱ(日本文教出版)										
補助教材(発行者)											

科目的目標	芸術の創造的な諸活動を通して、創造的な見方・考え方を働きかせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のように育成することを目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようとする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--	--	--

評価の観点 及び その趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

単位認定	全リポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はリポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	リポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	絵画の役割と写真の発明	第1・2・3回	前期
	第2回	琳派～継承と創造の系譜	第4・5・6回	
	第3回	作家探究	第7・8回	
後期	第4回	庭園のデザイン	第9・10回	後期
	第5回	現代につながる美術	第11・12回	
	第6回	様々な技法	第13・14回	